



6 月 20 日は、昇段・級試験の締切日です。

昇段・級試験の締切日（6 月 20 日）が近づいてまいりました。
書光誌に同封すると間に合いませんので、試験月の会報は別送でお届けしています。

昇段試験出品時の段級について

昇段・級試験を受験される方の出品時の段・級は、
【書光誌】6 月号の段・級で記入して下さい。

【書光誌】7 月号では○印での進級が無い為、6 月号の段・級と同じです。

昇段試験時のご注意

昇段・級試験時は、段位によっては提出作品も多く、出品要項が複雑な所もありますので

【書光誌】掲載の出品要項をよく読んで、出品して下さい。

受験される段・級によって提出する作品数が違います。不足がありますと審査が出来ませんので、間違えないようご確認をお願い致します。

なお、昇段試験時は通常競書の受付はありません。

昇段試験を受験される方の作品のみお送り頂きますようお願い致します。

また教師試験は今回の昇段試験には含まれません。教師試験は締切日がなく随時受付している試験ですので、今回の昇段級試験の名簿や清算書に氏名を記入して送る事は出来ません。教師試験の必要書類と一緒に個別にお送り下さい。（教師試験には昇段試験の割引率は適用されません）

学生部と一般部に関して

学生部と一般部に関してご質問が多くありますので改めてご説明いたします。

学生部・・・毛筆部、硬筆部の 2 部門があり、**高校生までの方が出品出来ます。**

一般部・・・段・級の認定が可能な規定部、かな部、細字部、ペン習字部の 4 部門、段・級認定のない条幅部、随意部、調和体部の 3 部門、合計 7 部門があり、**中学生以上の方が出品出来ます。**

学生部から一般部への編入・・・中学生以上の方は一般部へ編入が可能です。但し、編入する場合は書光誌記載の編入段・級（毎月 45 ページ前後に表記）に従った段・級でご出品下さい。編入が可能なのは学生（毛筆部）→一般（規定部）のみになります。よく、学生部（硬筆）→ペン習字に編入出来ると勘違いされる場合がありますが、規定部以外は 10 級から始めて下さい。

（特別編入）学生部で特待生になられた方は中学生以下の方でも一般部へ編入が可能です。

（特別編入試験）編入する際に書技実技に自身のある方は、有料になりますが特別編入試験の受験が可能です。書光誌掲載の特別編入試験の概要をご確認の上お申込下さい。審査結果により最高初段までの編入が可能です。

（学生部と一般部の併用）中学生以上の方は学生部と一般部の両方を出品する事も可能です。但し、学生部と一般部の段・級は別物ですので、必ず編入規定に従った段・級で一般部の提出をお願い致します。